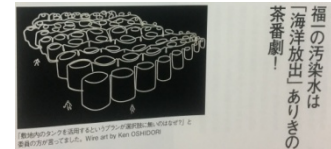


おしどりマコ・ケンの実際どうなの！

写真上は『DAYS JAPAN』10月号の「おしどりマコ・ケンの実際どうなの！」。8月30日、31日の福島第一原発汚染水に関する公聴会の取材。新聞報道では得られない発言などが紹介され参考になる。下は9月号。マコさんの文とケンさんの針金アートで綴られる。



8月30、31日と「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会」の公聴会を取材しました！福島第一原発に溜まり続ける汚染水のタンク群。この中身の、特に放射性トリチウムを含む汚染水の除去方法をめぐり議論がされました。



原子炉建屋の下に溜まっている超高濃度汚染水は、いくつもの処理装置に通して、最終的にALPS(多核種除去設備)で処理するんだけど、どうしても除去できないのがトリチウム。トリチウムが含まれた汚染水はALPS処理水、通称トリチウム水と呼ばれていたんだけど、8月20日、新聞でトリチウム以外の核種があることが大きく報じられ、「トリチウムって言ってたのに、他にも除去できていない核種があるじゃない！」と大問題になりました。まあ、私はずっと取材しているのでそれは知っていたし、というかALPSはそんなに性能が良くなってさ。不具合ばかりで、一番初めに作った既設ALPSはまだ使用前検査を合格していない「HOT 試験中」という状態。「放射性物質を使った実験中」という状態で本格運転をしてるんだ。その「トリチウム以外の取り切れない核種」は4つほどあって、何とかして除去するために活性炭をぶち込んだり、いろいろ試していました。公聴会は、30日午前福島県富岡町で、31日午前福島県郡山市で、午後東京都千代田区で開かれ、私はそれをすべて取材しました！注目されたのは、トリチウム水を海洋・環境放出する是非について。それぞれ14人、14人、16人の意見表明者のうち、ほとんどが海洋や環境中に放出することに反対。海洋放出賛成は2人だけ。意見表明者からは厳しい指摘がたくさん続きました。

(このうちの2人の意見表明だけ紹介) 富岡会場の吉田美恵子さんは「資料の中に、『トリチウム水処理に関して、オリンピックイベントに影響を与えてはならない』と書いてあった。オリンピックは原発事故から国民の目をそらすために誘致するのですか」と発言。郡山会場の柏木一昭さんは、「…処理水がそんなに安全というなら東京湾に流したら？(オリンピック会場の)の辰巳のプールに汚染水の処理水という『科学的に安全な水』を満たして、復興五輪の東京オリンピックを開いたらいいじゃん！」と言って拍手喝さいを浴びました。

(2018年9月29日)